

植田正治

撮ることにかきめる

DAY BY DAY:  
Shoji Ueda, His Views

2018年 3月1日(木) ——— 6月3日(日)

春の雲

この日、小学校の校庭の芝生に寝ころんで空を眺めていた。  
雲の、きれいな日だった。

左から右へ、千切れたり、膨らんだり、消えてしまったりで、  
雲の行進、なかなか、おもしろかった。  
撮ることにかきめる。

植田正治

(『アサヒカメラ』1984年10月増刊)より抜粋

SHOJI UEDA MUSEUM OF PHOTOGRAPHY

空に浮かぶ雲を眺めながら「撮ることにきめる」と綴った植田の文章、そして写真。このイメージに代表されるように、植田の作品には何気ない日常を写しとめたものが数多くあります。特別な被写体や風光明媚な風景ではなく、見慣れた山陰の空や雲、海辺の石ころ、揺れる草木、校庭で遊ぶ子どもたち、そして人影。今回の展示では、植田が写真家としてもつとも意欲的に活動し、充実していたといわれる1970年代から80年代前半の〈小さい伝記〉や〈風景の光景〉のシリーズをはじめ、カメラ雑誌などに掲載された作品の数々を紹介します。

「日々の出来事を日記に書きとめようと決意しても、何年間か毎年同じことを繰り返し達成できなかった」と語る植田ですが、写真は違ったようです。新しい発見や自身の心に触れるものに素直にカメラを向け収められた作品の数々は、構えることなく、まさに自然体で撮影されたものばかりです。また、身のまわりのささやかな事物を写しとめる植田のまなざしには、独特のユーモアが見え隠れし、忘れていた何かを私たちに思い出させてくれます。感性のままに植田が「撮ることにきめた」イメージの数々をお楽しみください。

同時開催 1FD展示室)

植田正治物語 ― 写真するボク ―

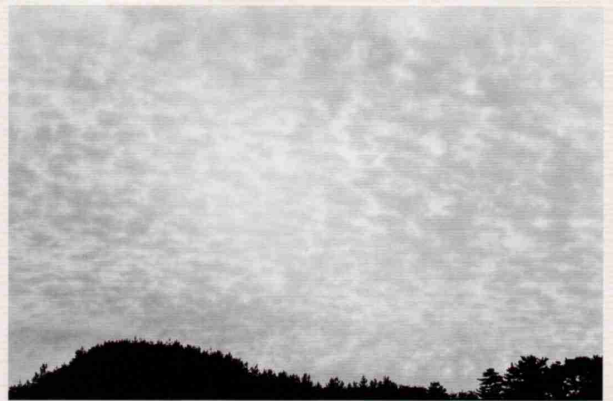
コレクション紹介展示 ● 植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介します。



シリーズ〈風景の光景〉より 1979—83年



シリーズ〈風景の光景〉より 1979—83年



某日某日 1973年



シリーズ〈風景の光景〉より 1979—83年

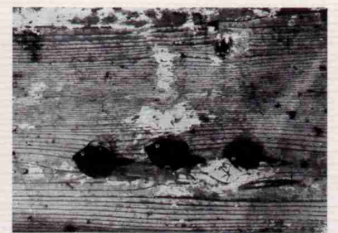


シリーズ〈小さい伝記〉より 1974—85年

## DAY BY DAY: Shoji Ueda, His Views



シリーズ〈風景の光景〉より 1979—83年

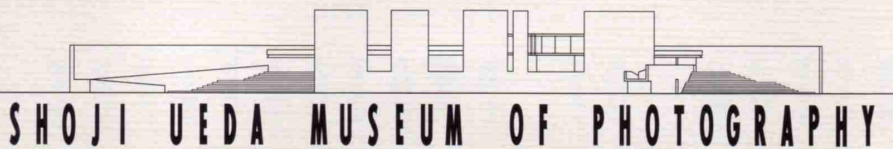


山陰路 暑く長かった夏 1978年

会期 ● 2018年 3月1日(木) — 6月3日(日) 午前9時から午後5時 ただし閉館の30分前までにご入館下さい。  
休館日 ● 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日) ただし5月1日は開館します。  
入館料 ● 一般900円(800円)、高校・大学生500円(400円)、小 中学生300円(200円) ( )内は20名以上の団体料金です。  
主催 ● 伯耆町 / 植田正治写真美術館

### 植田正治写真美術館

鳥取県西伯郡伯耆町須村353-3 ☎689-4107 Phone.0859-39-8000 Fax.0859-68-3600 Homepage <http://www.japro.com/ueda/>



SHOJI UEDA MUSEUM OF PHOTOGRAPHY